教材・教具

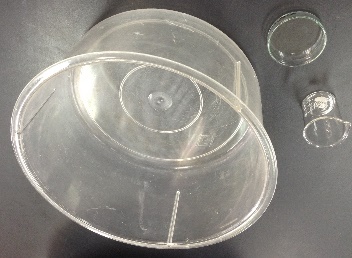
**台風発生モデル装置**

台風の発生を視覚化して観察できるように工夫した。



台風発生モデル装置

【教師用】



台風発生モデル装置

【生徒用】

大気の流れを観察しやすいようにドライアイスを使用する。

お湯を熱源として上昇気流を起こす。

地球の自転は回転台で再現した。

①　回転台の上に容器を置き、（煙を容器内に留めておくため）カバーをセットする。容器内の端にビーカーをセットする。

②　ドライアイスを約２㎝の大きさの塊にハンマーで砕く。

③　ビーカーにドライアイスを入れ、その後お湯を注ぎ、容器内をドライアイスの煙で満たす。

④　容器内が煙で充満したら、容器のシャーレにお湯注ぐ。

⑤　回転台をゆっくり回転させる。渦が発生する。

台風発生モデル装置の模式図（横からみた図）

外側のカバー（透明なシートで作成）

ビーカー

シャーレ

お湯

ドライアイスとお湯

回転台

容器

（植木用 浅皿）

内側のカバー

（下方に煙が入り込める隙間を開ける）

ドライアイスの煙

高さ

22㎝

大きさ　直径45㎝

【準備するもの】

回転台、丸形の容器（植木用の浅皿15号）またはスチロール丸水槽、

ビーカー50ml（２つ）、シャーレ直径７㎝（１つ）、お湯、ハンマー、

ドライアイス（200ｇ）、

カバー（大小：透明なクリアファイルで作成）、

　＊外側カバー：ドライアイスが逃げないようにする囲い

　＊内側カバー：渦を作る時に、周囲の流れに邪魔されず安定させるため